

2022 年度 石橋文化センター・久留米市美術館 事業協賛のご案内



石橋文化センターは、1956年（昭和31年）に株式会社ブリヂストンの創業者、石橋正二郎氏により郷土久留米市に建設寄贈された総合文化施設です。開園60年の節目となった2016年には、中心施設の石橋美術館の歴史と活動を受け継ぎ、「久留米市美術館」として新たにスタートしました。

石橋文化センターを管理運営する公益財団法人久留米文化振興会は、久留米市美術館を中心に「石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた活動」として様々な事業を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、定員制限等により以前のように事業ができない状況が続いていますが、新たに映像配信等も実施しながら、with コロナに向けた取り組みも行っています。

新たな「楽しみと^{しあわせ}幸福の時間」を創出する当財団の事業にご理解いただき、ぜひご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人久留米文化振興会



石橋文化センター・久留米市美術館 事業協賛制度について

1. 協賛の目的

1) 久留米市美術館と石橋文化センター事業等への支援

久留米市美術館を核に、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉えた活動を推進し、市民が気軽に文化芸術に触れ、若い世代の育成に繋がる事業の充実を図ります。石橋文化センターの特性を生かしながら新たな魅力を発信し、久留米市の文化芸術の拠点としてより一層の強化を図るため、ご支援をお願いするものです。

①石橋文化センターミュージアム化事業の推進

○アートフェスティバル

- ・子どもとアーティストによるアート創造プロジェクト
- ・大学生等の若手アーティストの創作活動支援プロジェクト
- ・市民創作体験プロジェクト
- ・アートワークショップ
- ・園内ライトアップ・光のアート



○ミュージアムクリスマス

○ミュージアムコンサート

②7つの花のイベントの充実と環境整備

- ・バラフェア(春・秋)
- ・あじさい・はなしょうぶまつり
- ・もみじまつり
- ・春の花まつり(梅・つばき・さくら)
- *上記の花イベントの充実のための花壇整備等



③ブランディングの推進

- ・石橋文化センターは「自然・芸術・教養にふれて自分を取り戻せる充ち足りた時間」、「自ら創作・創造・体験してワクワクする時間」を活動コンセプトとしています。
- 様々な事業により、ブランド理念である「楽しみと幸福の時間。」を提供していきます。

2) 石橋文化センター入園者数及び久留米市美術館入館者数の拡大

久留米市美術館や石橋正二郎記念館を学校教育や企業教育の場として活用いただく他、友の会の拡充等によるリピーターとなるファン層の拡充を目指します。

2. 協賛メニュー

協賛メニュー	対象
(Ⅰ) 一般協賛	法人(企業、団体等)及び個人
(Ⅱ) オフィシャルパートナー	法人(企業、団体等)
(Ⅲ) キャンパスパートナー	学校法人

* 詳細別紙

3. 協賛期間

2022年4月1日～2023年3月31日 (1年間)